

みなとかまいし 地区会議だより



【平成25年1月1日発行 第3号】

みなとかまいし地区会議は、釜石湾に面した市の中心部に位置する地域会議で、平成21年3月に設立しました。

【発行】みなとかまいし地区会議
議長 高橋松一

【事務局】釜石地区生活応援センター
電話22-0180 FAX22-6375

糾 心は一つ 震災復興がんばろう釜石



新年明けましておめでとうございます。

震災からまもなく1年10ヶ月になります。見慣れた街並みが日々変化していく中、深い悲しみから立ち上がり、心を一つにして、地域の復興に一緒に取り組んでいきましょう。

本年もどうぞよろしくお願ひします。

【高橋議長ほか役員・事務局一同】

平成24年度 第1回地域会議 を開催しました

昨年の11月19日(月)、青葉ビルで第1回地域会議を開催しました。初めに野田市長から、復興の取り組みについての説明があり、続いて市の担当課長から、地域会議要望についての説明を受け、その後、意見交換を行いました。

当地区会議で提出した14項目の要望に対する市の対応方針などについては、次のとおりです。

課題・要望項目	市の対応方針など(要旨)
① 指定危険箇所の点検と早期整備、定期的な状況説明会の開催について (継続要望)	県も市も危険箇所の現状把握と情報提供をしています。砂防ダムの整備や急傾斜地の崩壊対策については、今後も県に要望します。また、状況説明会は、随時開催していきます。
② 浜町避難道路の安全対策について (継続要望)	避難道路の安全が図られるよう、定期的なパトロールや応急処置をしていきます。
③ 共有地における地域課題の解決促進について [松原・嬉石・大平地区] (継続要望)	共有地の土地の処分や利用には、共有者全員の同意が必要です。共有地の立木の伐採は土地の処分ではないので、地権者である共有会の判断で対応できると考えます。
④ 天神町旧釜石小学校付近の抜本的排水対策の推進について (継続要望)	現在、仮設住宅が設置されているため工事ができないことから、住宅撤去後に対応します。
⑤ 避難所となる集会施設の整備について [東前・浜町・只越・駒木地区] (継続要望・一部追加)	新たな公共施設の整備にあたり、避難所機能を持たせるよう検討しています。被災した屯所は、仮設で復旧しました。なお、民間集会施設を市が建替えることは考えていません。
⑥ 大渡町から駒木町までの甲子川の防災対策について [堆積土砂の撤去など] (継続要望・一部追加) 	今年、県が五の橋下流の土砂を撤去しました。今後も地域や有識者の意見を聞きながら対応していくとのことです。 市も甲子川の防災対策について、引き続き県との協議や要望を行います。
⑦ 大只越町の市道の拡幅について (継続要望・一部追加)	大只越町1丁目1~4付近の市道が狭いことは認識していますが、災害復旧を優先しているため、当面、拡幅は困難です。
⑧ 復興公営住宅の早期建設について (新規要望)	住宅再建の意向調査の結果を踏まえ、可能な限り希望どおりの戸数を建設していきます。
⑨ 釜石魚市場の早期再建と水産加工場等の再建支援について (新規要望)	魚河岸地区と新浜町地区への新魚市場整備を継続していきます。魚河岸地区の魚市場は、平成28年度の整備完了を目指しています。民間水産加工業の再建支援も行っていきます。

課題・要望項目	市の対応方針など（要旨）
⑩ 甲子川河口水門の設置場所及び水際防潮堤の高さの見直しについて （新規要望）	県では、旧釜石署付近に水門を設置することに理解をいただきたいとのことです。なお、嬉石漁港からの津波浸水を抑えるため、防潮堤と付近の市街地の嵩上げを考えています。
⑪ 避難用歩道の整備について [大渡・大町・松原・嬉石地区]（新規要望）	歩行者用の避難路について、復興まちづくり計画により整備手法などを検討していきます。
⑫ 浜町地区土地利用計画の見直しについて（新規要望）	現在、測量結果をもとに東部地区の嵩上げ案を作成しており、早急に計画案を示せるように対応していきます。
⑬ 街路灯及び防犯灯の復旧促進について （新規要望）	 市道の街路灯は、交通安全のために必要な箇所に設置しています。地域の街路灯の設置には、市の補助制度を活用してください。また、防犯灯は、要望箇所が多いので時間が掛かりますが、順次設置していきます。
⑭ 道路側溝の改善について [松原地区など]（新規要望）	現在、只越町周辺で災害復旧事業での補修を進めており、他地区についても随時補修をしていきます。

第1回地域会議 意見交換から

市民文化会館を移転新築する理由は？

教育長：東部地区の賑わいの集約や商業動態を考慮するとともに、心の復興のためにも、場所を変え新築することが効果的と判断しました。



市庁舎を新築する計画は？

副市長：市役所の庁舎は、震災でも倒壊しなかった丈夫な建物ですが、分散して建っているため、市民の皆さんの便宜を考えると集約しなければなりません。また、震災に強いまちづくりや、行政機能の強化のためにも、新築したいと考えています。



復興まちづくりの考え方は？



市長：復旧・復興を進めるうえで、未来に希望を持てるまちにしたいと考えています。一人でも多くの市民にまちづくりに参画してもらい、その意見が反映されるような仕組みづくりをしてきましたつもりです。公共施設の整備には、国の補助などを最大限に活用し、また節約もして、次の世代の負担とならないように進めています。

昨年11月23日(金)、陸前高田市の老舗醸造元(株)八木澤商店の河野和義さんをお招きし、青葉ビルで「ふるさとは負けない」をテーマに講演会を開催しました。

- 何でも一生懸命取り組めば、必ず手助けが入る。国や県、市の悪口を言いながら待つより、「何とかなるべ」と行動を起こすことが大事。
- 陰口が横行すると、地域が一緒になって何かを成し遂げるのは不可能。評論家はいらない。

このような熱意あふれるお話に、元気と感動をもらうとともに、よりよい地域をつくるためには、プラス発想で一步踏み出すことがとても大切と学びました。

「ふるさとは負けない」
河野和義さん講演会
を開催しました



陰口はダメ！